


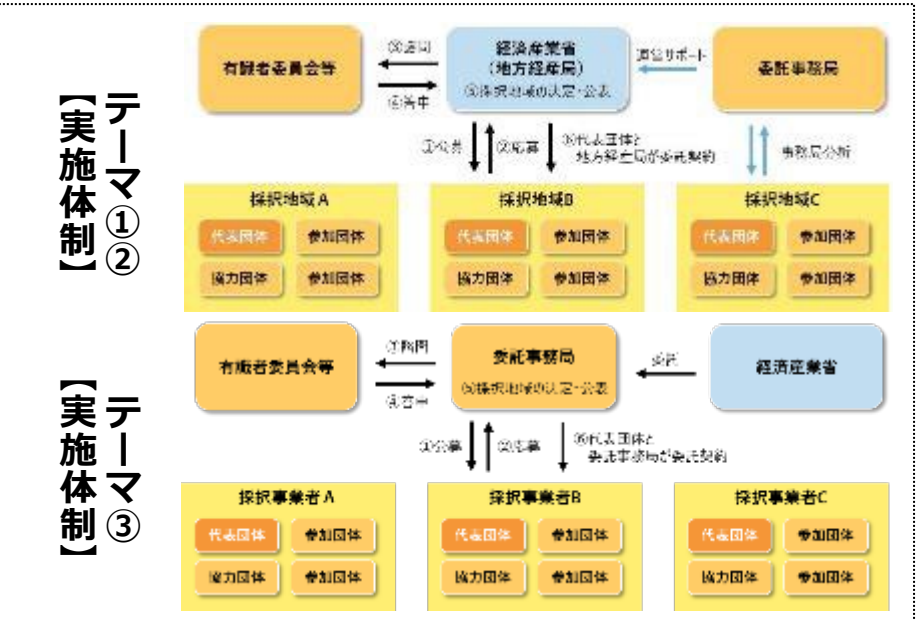
| 20 | 地域新MaaS創出推進事業 | 事業URL seizou_taka_01.pdf (meti.go.jp) |  | 問合せ先 | 経済産業省 製造産業局 自動車課 ITS・自動走行推進室 03-3501-1618 | |
|--------|---------------|--|--|-----------|---|-----------------|
| 関連する取組 | 事業実施主体 (対象者) | 支援対象・内容 (ハード・ソフト) | 補助率等 | 公募時期 | 事業要望 調査時期 | 令和5年度 当初予算(百万円) |
| 地域交通 | 企業・団体等 | ハード・ソフト | 委託金 | 4月上旬～5月上旬 | 7月～3月 | 6,500,000の内数 |

趣旨・目的 地域の移動課題の解決のため、MaaSの実装に取り組む地域（企業・団体等）を支援。新たなモビリティサービスの社会実装及び全国での横展開モデルの実現を目指す。

事業内容 移動の全体最適化に向けたサービス観点での挑戦を下記テーマ①テーマ②で、データ・システム観点での挑戦をテーマ③で支援する。

事業概要・実施スキーム

- ①移動サービスの最適化、②移動サービスと異業種・移動先の連携、③地域や業種をまたがるモビリティデータ利活用、の3テーマについて、事業面／体制・環境面／受容性・効果面を検証。



テーマ①：移動サービスの最適化

・地域における最適な移動サービスの検討と、実現に向けた体制組成・交通再編等

テーマ②：移動サービスと異業種・移動先の連携

・異業種と連携した新しいモビリティサービス（貨客混載・医療MaaS等）の検討と、実現に向けた体制組成

・移動サービスと移動先サービスが一体となった事業運営の検討（移動先店舗との収益連携等）と、実現に向けた体制組成等

テーマ③：地域や業種をまたがるモビリティデータ利活用

・交通サービスの効率化に向けた複数の交通事業者間でのバックエンドシステムやデータの連携・共通化の検証等

・移動目的地（購買・医療等）側サービス事業者と、移動サービス事業者間のシステム・データ連携における課題抽出、効率化効果の検証、分析結果を用いた業務更新・改善等

・地域データ基盤の構築に向けた要件定義

・モビリティデータの分析による新たな付加価値の創出、創出付加価値提供先の新規開拓等

過去採択事業のサービス実装例

- 過去年度の「地域新MaaS創出推進事業」の実証成果や知見集は、右、経済産業省ホームページに公表。



「スマートモビリティチャレンジ」

| 21 | 遠隔医療設備整備事業 | 事業URL | — | 問合せ先 | 厚生労働省 医政局 特定医薬品開発支援・医療情報担当参事官室 03-5253-1111(代表) | |
|--------|----------------------|------------------|------|------|---|------------------------------|
| 関連する取組 | 事業実施主体(対象者) | 支援対象・内容(ハード・ソフト) | 補助率等 | 公募時期 | 事業要望調査時期 | 令和5年度当初予算(百万円) |
| 医療・介護 | 都道府県、市町村、厚生労働大臣の認める者 | ハード | 2分の1 | 6月下旬 | | 400 ※医療施設等設備整備費補助金のメニュー予算 |

1 事業の目的

この事業は、情報技術を応用した遠隔医療を実施することにより、医療の地域格差を解消し、医療の質及び信頼性を確保することを目的とする。

2 事業の概要・スキーム

情報通信機器を活用して病理画像・X線画像等を遠隔地の医療機関に伝送し、専門医の診断・助言を得ることで、適切な対応を可能とする。また、医学的管理が必要な慢性疾患であって、地理的理由等により往診・通院が困難な患者等に対し、テレビ電話等の機器を貸与して、遠隔地からの診療支援を行う。



| 22 | 指定管理鳥獣捕獲等事業費 | 事業URL https://www.env.go.jp/nature/choju/reinforce/index.html |  | 問合せ先 環境省自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室 03-5521-8285 | | |
|--------------|--------------|--|--|--|----------|----------------|
| 関連する取組 | 事業実施主体(対象者) | 支援対象・内容(ハード・ソフト) | 補助率等 | 公募時期 | 事業要望調査時期 | 令和5年度当初予算(百万円) |
| 鳥獣被害対策・ジビエ利用 | 都道府県・協議会 | ソフト | 交付金(補助率1/2、2/3、定額) | | 1月～2月頃 | 200 |

都道府県等が計画に基づき行う指定管理鳥獣（ニホンジカ、イノシシ）の捕獲等を支援します。

1. 事業目的

令和5年度末までにニホンジカ・イノシシの個体数を半減させる目標の達成及び豚熱ウイルスの拡散防止を目的とした野生イノシシの捕獲強化に向けて、都道府県等が行うニホンジカ・イノシシの捕獲事業等を交付金により支援する。

2. 事業内容

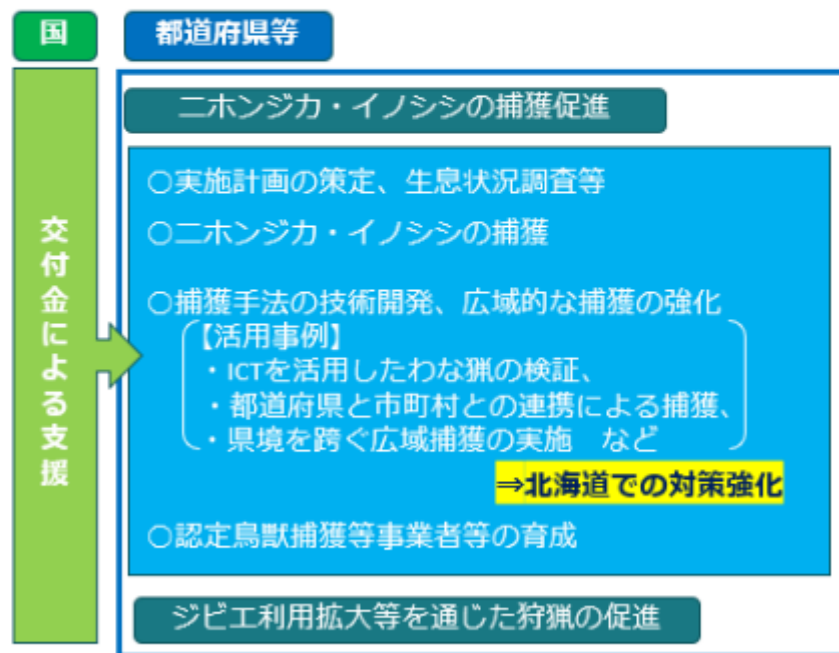
ニホンジカ及びイノシシの半減目標（平成23年度比）の達成及び豚熱ウイルスの拡散防止に向けてなお一層の捕獲を行う必要があることから、都道府県等が行う以下の取組の一部又は全部について、交付金により支援する。

- ①指定管理鳥獣捕獲等事業に係る実施計画策定、生息状況調査等
- ②指定管理鳥獣の捕獲等（ニホンジカ・イノシシ）
- ③効果的な捕獲の促進（捕獲手法の技術開発・市町村連携による捕獲・広域連携による捕獲）
- ④認定鳥獣捕獲等事業者等の育成（捕獲技術向上のための研修会等）
- ⑤ジビエ利用拡大を考慮した狩猟者の育成（食肉衛生の講習会等）
- ⑥ジビエ利用拡大等のための狩猟捕獲支援（捕獲個体の搬入への支援及び捕獲強化のための狩猟捕獲経費補助等）

3. 事業スキーム

- 事業形態 交付金（補助率1/2、2/3、定額）
- 交付対象 都道府県、協議会
- 実施期間 平成26年度～令和5年度（予定）

4. 事業イメージ



| 23 | 国民のデジタルリテラシー向上事業 | 事業 URL | https://www.mext.go.jp/a_menu/01_d/12940001.htm |  | 問合せ先 | 文部科学省総合教育政策 局地域学習推進課 03-5253-4111 |
|-----------------------|------------------|----------------------|---|--|--------------|---|
| 関連する取組 | 事業実施主体 (対象者) | 支援対象・内容 (ハード・ソフト) | 補助率等 | 公募時期 | 事業要望 調査時期 | 令和4年度 補正予算(百万円) |
| 地域住民の交流の場・ 学習機会の提供 | 地方公共団体 | ソフト | 委託費 補助金(定額) | 令和5年1月、3月、5月 | | 1300(百万円) |

背景・課題

- デジタル田園都市国家構想基本方針を踏まえ、年齢、障害の有無、所得、地域、国籍等にかかわらず、誰もが、いつでも、どこでも、デジタル化の恩恵を享受できることが重要。このため、国民がデジタル技術の必要性を理解し、その活用により生活の利便性を向上させていくことが必要。
- このため、いつでも誰でも希望する国民が気軽に受講できる基礎的・実践的なデジタルリテラシー講座を公民館等の場を活用し、関係省庁の連携・協力により全国に展開する。

事業内容

- 公民館等の社会教育施設や学校等の場を活用したデジタル講座を実施する。



講座内容 (例)

- ◆ パソコンの基本操作
 - ・電源の入れ方
 - ・文字の入力、マウス操作
 - ・インターネット接続
 - ・メール送信 等
 - ◆ オンラインサービスの仕組み
 - ・各種行政サービス
 - ・ネットショッピング
 - ・災害時など緊急時対応 等
- ※ 高齢者でも活用が進むよう、具体的な場面を想定した講座を実施。